

ご挨拶

会長 豊田勝良

今、石神井神社の境内でアジサイの花が綺麗に咲いています。以前は、村の鎮守様と言った風情の鬱蒼と茂った大きな木が沢山ありましたが、時代の流れでしょうか御神木1本を残しほとんどの木を伐採してしまいました。代わりとして境内の周りに色々な種類、色々な色のアジサイが植えられ、今梅雨空の下、紫陽花が綺麗に咲きこぼれています。お時間のある方参拝がてら見に行かれてはどうでしょうか。

町会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。日頃より町会活動に対しましてご理解、ご協力を頂きありがとうございます。

先月11日に開催した総会で第1号議案～第4号議案まで全て無事了承頂きました。特に今年度より第2号議案で本会計とリサイクル関連の会計を分けて報告をさせて頂きました。

リサイクルの収入は第1、3土曜日の古紙、段ボール、衣類等のリサイクル回収金で、その使途として、リサイクルの普及啓発、防災・災害対策費、大規模災害が起きた地域に義援金に限定しています。月・木曜日の区のリサイクル日に出さず是非とも町会回収日に出すようお願いいたします。総会後の懇親会兼班長会も無事終了しました。総会に時間がかかり懇親会兼班長会の時間が短くなってしまいましたが、新班長さんから高評価を頂きました。次回は総会にあまり時間をかけず、懇親会兼班長会に時間をかける様にして開催したいと思います。

東京都は現在各自治体に対し災害備蓄倉庫1台、最大70万円の補助金を受付しています。申請するには幾つかのハードルがありますが、町会として申請する方向で考えています。少しでも多くの災害用備蓄をしていきます。大規模災害が発生した場合、自治体も被災します。すぐには救助は来ません。自力で、家族で、ご近所どうしで生き抜いていくしかありません。その手助けをするのが町会です。会員の皆様にも家族が必要な最低3日間分、出来れば1週間程度の食料、簡易トイレ等の備蓄をお願いしたいと思います。

大規模災害で自宅が被災し住むことが出来なくなった場合、私たちの地域は避難場所として光和小学校・石神井中学校が避難拠点になっています。それぞれに避難拠点運営連絡会が組織され定期的に避難訓練を行っ



ています。町会は被災した自宅で避難生活を送っている町会員の皆様の手助けをします。又、練馬区から災害時避難行動要支援者名簿が毎年送られてきます。その名簿を基に町会員以外の方は民生委員の方が、町会員の方は各支部長、班長さんが安否確認を行い、支援が必要な場合、町会は地域の皆様と協力し行って行きます。日常から玄関内には災害時安否確認ボードを置き、災害発生時問題なければ玄関に掛けてください。お隣同士確認合って頂きたいと思います。今年は防災訓練の一つとして、災害時安否確認ボードを使った訓練をしたいと思います。

梅雨の中休み暑い日が続きます。町会員の皆様お体にお気をつけてお過ごし下さい。

令和7年度の盆踊り大会

○光和小学校での踊りは、7月19日(土曜日)PM6:30から8:00。雨天の場合は21日に開催。

○石神井小学校での踊りは、7月21日(月曜日)PM6:00から7:00。雨天の場合の順延はありません。

両小学校で、共に踊る炭坑節、東京音頭、練馬音頭、相馬盆歌などを、下記の日程で練習しています。
ご都合のよい時、何回でもご参加下さい

7月に行われる予定の光和小学校、石神井小学校の盆踊りに向けて盆踊り練習会を行います

第8回	7月 1日(火)14時~16時	男女共同参画センターえーる和室大
第9回	7月3日(木)19時~21時	男女共同参画センターえーる視聴覚室
第10回	7月8日(火)19時~21時	男女共同参画センターえーる和室大
第11回	7月10日(木)19時~21時	男女共同参画センターえーる視聴覚室
第12回	7月15日(火)14時~16時	男女共同参画センターえーる和室大
第13回	7月18日(金)19時~21時	男女共同参画センターえーる和室大



地域福祉部 災害時における避難行動要支援者に対する安否確認及び支援について

石神町会では、平成27年(2015年)6月以来毎年、練馬区から災害時の「避難行動要支援者名簿」(旧災害時要援護者名簿)を受け取り、そのうち町会の会員である要支援者については町会で、町会の会員でない要支援者についてはその地区を担当する民生委員が災害時の安否確認を行い、必要な支援(避難行動支援)を行うこととしてきました。

具体的には、町会の会員である要支援者については、その方が所属する班ごとにその年の班長さんあるいは気心の知れた隣人が安否確認等を行います。

安否確認の要領は、震度5弱以上の地震があった場合、要支援者の方は、無事な場合は区から配布されている「安否確認ボード」を使い、「無事です」という面を表にして玄関に掲示します。班長さん等の安否確認等担当者はその掲示を見て無事を確認し、必要な支援を行います。

ところが区では昨年からは、避難行動要支援者が災害時に「どこへ」「誰と」避難するかをあらかじめ決めておく「個別避難計画」を作成することになりました。個別避難計画が作成された場合は、避難行動要支援者は計画に示された避難支援者とともに避難することになりました。

今年の「避難行動要支援者名簿」は、6月17日に練馬区から提供されました。

新しい名簿によると、今年の石神町会区域の避難行動要支援者は230名で昨年より18名増加しました。そのうち個別避難計画が作成され、避難支援者が示されている方が93名で昨年より44名増加しました。残りの137名の要支援者について、町会と民生委員とで連携して安否確認及び必要な支援を行うことになりました。個別避難計画に示された避難支援者は、要支援者の長女が18名、長男が22名、その他の子供が12名で、これらで全体の55.9パーセントを占めています。その他では配偶者が15名、兄弟姉妹が9名、母親父親が9名、近隣住民等が6名、その他が2名となっています。

これまで区では毎年春に「避難行動要支援者名簿」を更新し、また町会では毎年4月に班長さんが交代するので、町会は毎年9月1日(防災の日)をめぐり、班ごとの要支援者の確認(それまでに死亡または施設等へ移転した場合は対象から除外したうえで、町会の会員であるか否かの区分)を行い、町会の会員である避難行動要支援者に対して、その年の班長さんを中心に安否確認等担当者の更新を行ってきました。

昨年は個別避難計画策定の初年度として作業に時間がかかったため、名簿の提供が半年ほど遅れましたが、今年は例年通り春に新しい名簿が区から提供されましたので、例年通り9月1日(防災の日)をめぐり、新しい班長さんを中心に安否確認等担当者の更新を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。どなたにでもわかるように表にしてみました。

2025年6月現在

あなたはどこにはいますか？			
自力で避難できる人	自力で避難できない人(230名)		
	助けてくれる人がいる(93名)	助けてくれる人がいない(137名)	
		町会員である	町会員ではない
自宅避難。無理な場合は避難拠点へ	区が作成した個別避難計画に従って避難する	班長、或いは気心の知れた隣人が安否確認し助ける。班長或いは隣人がこの活動を了承していること。また安否確認の実践的練習が必要	民生委員が、安否確認をし、避難させる

防犯交通部

何もしないことが、最強の防御

特殊詐欺は、今年1月から5月末までに、石神井町では3件発生。被害届を集計した統計だそうです。しかし、この所、身近で詐欺電話がかかってきたという話を頻りに聞くようになりました。体感的には大変な数のなりすまし電話が我々を狙っている状況です。

固定電話ならば、録音機能や留守電の活用、国際電話の休止措置などの対抗処置もあり、相手との直接通話を避けて或る程度の防御ができることを、お知らせしてきました。又スマホならば、国別コードを見て詐欺の外電と判断するか、或いは通信会社が迷惑メールとマークしてくれる場合もあります。しかし、それらをかいくぐる相手。貴方と直接電話で接触、音声を通じ、公的なものになりすまし、言われた通りの事をしないと大変な不利益がふりかかると、貴方を不安な気持ちに追い込みます。身に覚えのない話だったら、これは理解できないことだと、自分でしっかり認め、一切動かないことが肝心。

冷静になればわかるのですが、巧みに迫られて信じてしまう事があるのです。相手の言い方は、千差万別。少しでも変だと思ったら、何も言わず切る事。そして警察に聞くのが、最善の対策。スマホやPCでは、入力項目がある文章や図を見せ、そこに自分のデータを入れさせようという手口です。これも、何もせず切る事が、最善です。



練馬区住まいの防犯対策緊急助成事業

練馬区打破、地域の防犯意識の更なる向上と対策強化を図るため「防犯カメラ」や「カメラ付きインターホン」など**対象の防犯対策物品を購入・設置した方に費用の一部を助成します。**



詳しくは令和7年度「練馬区住まいの防犯対策緊急助成事業」について申請方法は QR コードでこちらから



文化交流部

バス旅行のお誘い

5月24日に歩く会「三宝寺さんで写経体験」18名の参加で石神井公園駅から三宝寺さんまで歩きご住職のお話を伺って写経をしてきました。集中して写経をしていると背中も伸び、終わると清々しい気持ちになりました。

10月14日（火）には本所防災館の体験見学のバス旅行を予定しています。人気があり予約の取りにくいところですので是非ご参加ください。

令和7年度総会

5月11日 14時から15時半に、石神井庁舎で、今年度石神町会総会が開催されました。参加者は60名。前年度の事業報告・決算報告・監査報告が、各関係者から報告され承認されました。次に、今年度の各部の事業報告が各部長から説明され承認されました。予算案は、本予算を会計部長が説明、今年度から別予算としたリサイクル会計予算をリサイクル部長が説明、承認されました。

総会后、続けて各支部毎に班長を交えた懇親会を開催。会終了後に回収したアンケートは24枚。それによると、総会の時間を短くして、班長会にもっと時間を取って貰いたい等積極的な意見があり、町会活動への理解が進み、また班長同士の親睦も深まって班長会は好評だったようです。

役員会ではこのアンケート結果をみて、○次回の総会では、総会を1時間以内に収める。○そのため総会での報告は、要点に絞る。○全体が1時間で収まるように報告者に事前に申告してもらい事前調整するとの意見が出ました。



発行者：豊田 勝良

担当部：広報部

広報部長：坂本 直明